

新たな県総合計画の概要

計画名称・期間

茨城県総合計画 ～「新しい茨城」への挑戦～（4年間／2018～2021）

【第1部 将来構想】

第1章 時代の潮流と茨城のポテンシャルの発現

第1項 時代の潮流（「新しい茨城」づくりに向けて留意すべき重要な視点）

- 未曾有の人口減少や超高齢社会への対応
- 社会経済のグローバル化の進展
- Society5.0の実現への挑戦
- インフラの老朽化と大規模災害への備え
- 働き方改革と人材への投資を通じた生涯現役社会への挑戦
- 持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取組の加速化
- 大規模イベントの開催を通じたPR
（世界湖沼会議、G20、茨城国体、東京オリンピック・パラリンピック）

第2項 茨城のポテンシャルの発現

- 都市的な生活と豊かな自然を活かした茨城らしい暮らしやすさへ
- 科学技術やものづくり産業等を活かし、世界に誇る茨城へ
- 全国をリードし、世界へ羽ばたく農林水産業へ
- 広域交通ネットワークの整備による新たな交流・広域連携の推進
- 地域資源の再発見・発信強化による魅力あふれる茨城へ

第2章 人口の展望

【人口の推移】2000年：299万人（頂点） 2015年：292万人

【人口見通し※】2030年：276万人程度（高齢者人口割合32%）

2050年：252万人程度（ 〃 34%）→国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した将来推計人口210万人を42万人程度上回る。

※若い世代の経済的安定や、企業誘致による働く場の確保などの施策を講じることを踏まえた見通し

第3章 茨城の将来像

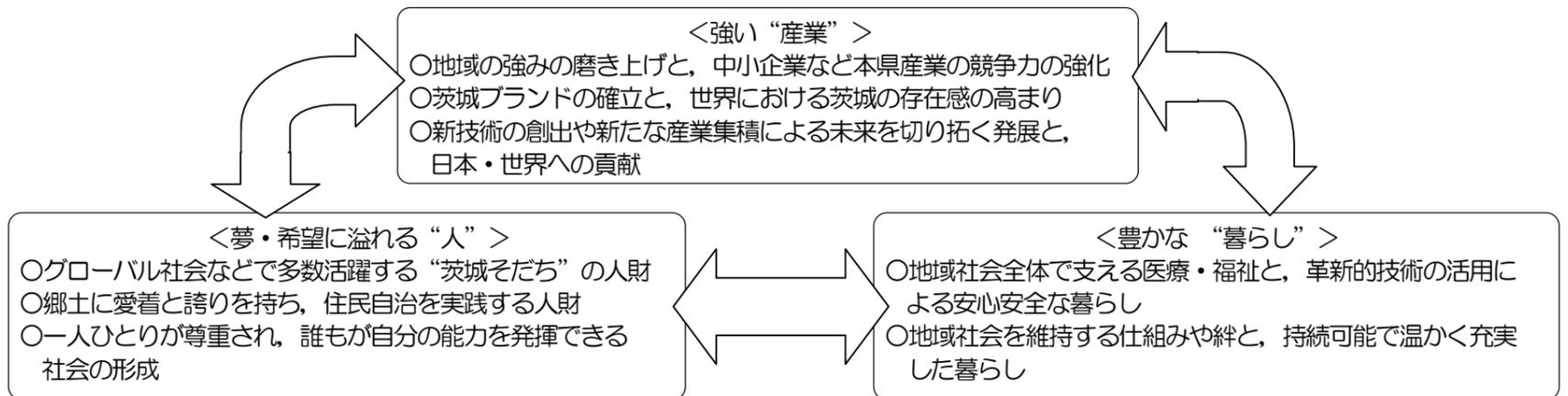
第1項 基本理念

『 活力があり、県民が日本一幸せな県 』

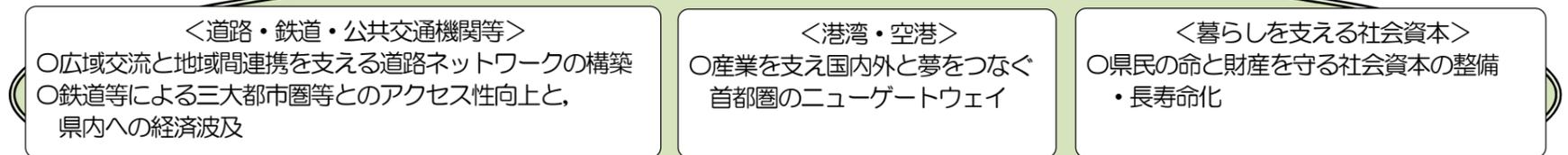
- 人口減少時代を迎える中でも、県民一人ひとりが本県の輝く未来を信じ、「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増えるような、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に挑戦します。

第2項 茨城のグランドデザイン（2050年頃）

(1) 茨城の将来像



(2) 県土を支える社会基盤



【第2部 計画推進の基本姿勢】

1 県民とともに挑戦する「茨城づくり」

- ・ 多様な主体との緊密な連携
- ・ 前例にとらわれない発想、失敗を恐れず果敢に挑戦
- ・ 高付加価値体質となることを目指す
- ・ 挑戦する県民の皆さんを応援し、支え、ともに切り拓く

2 未来を展望した政策展開

- ・ 地域の特性や強みを活かすとともに、医療・教育・産業育成など未来を見据えた政策展開

3 戦略的な行財政運営

- ・ 県民本位の施策やサービスの提供 ・ 県庁を挑戦する組織へ
- ・ スクラップ・アンド・ビルドの不断の取組 ・ 選択と集中の徹底

4 政策の効果検証・改善による目標実現へのチャレンジ

- ・ PDCAサイクルを回し、改善方策を政策・事業・予算に反映

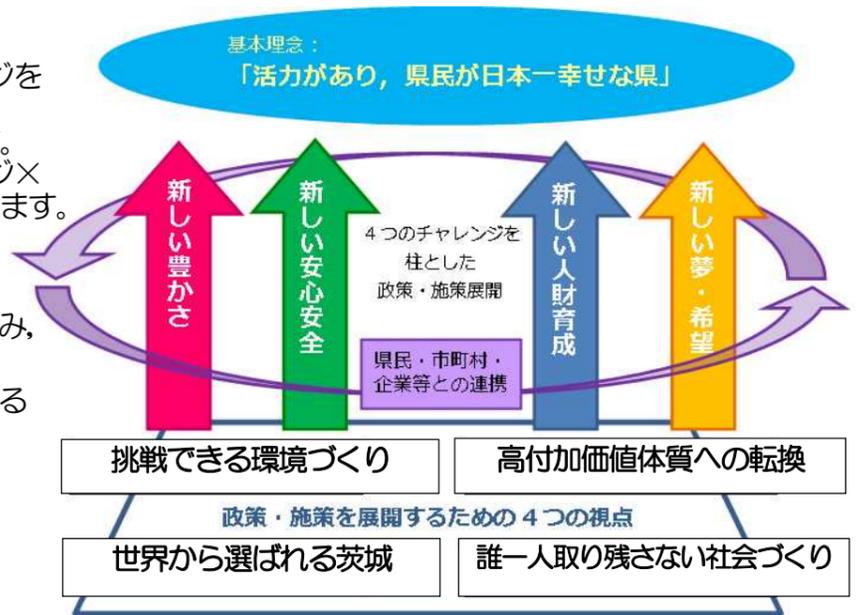
【第3部 基本計画】

第1章 基本的な考え方

- 「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、新しい4つのチャレンジを推進します。
- 新しい4つのチャレンジを柱として、4つの視点から政策・施策を展開します。
- 新しい4つのチャレンジには、それぞれ5つの「挑戦する政策」（4チャレンジ×5政策＝計20政策）を掲げ、今後推進していく施策・主な取組を整理しています。

○新しい4つのチャレンジについて

- 「新しい豊かさへのチャレンジ」** …力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します。
- 「新しい安心安全へのチャレンジ」** …医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。
- 「新しい人財育成へのチャレンジ」** …茨城の未来を創る「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。
- 「新しい夢・希望へのチャレンジ」** …未来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力度向上を図ります。



第2章 4つのチャレンジによる「新しい茨城」づくり

- 4年間に挑戦する政策・施策・取組を総合的かつ体系的に示します。
- 本県が飛躍するために重要なこれからの10年を見据えて、4つのチャレンジに取り組むことで描かれる、近い未来の姿（概ね10年後の姿）を示します。
- 「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現の状況を把握できるよう、4つのチャレンジ毎に特に重要な指標を「チャレンジ指標」として2～3項目選定します。

I 「新しい豊かさ」 ① 質の高い雇用の創出 ② 新産業育成と中小企業等の成長 ③ 強い農林水産業 ④ 多様な働き方 ⑤ かけがえのない自然環境の保全・再生	II 「新しい安心安全」 ⑥ 県民の命を守る地域医療・福祉 ⑦ 健康長寿日本一 ⑧ 障害のある人も暮らしやすい社会 ⑨ 安心して暮らせる社会 ⑩ 災害に強い県土	III 「新しい人財育成」 ⑪ 次世代を担う「人財」 ⑫ 魅力ある教育環境 ⑬ 日本一、子どもを産み育てやすい県 ⑭ 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城 ⑮ 人権を尊重し、多様性を認め合う社会	IV 「新しい夢・希望」 ⑯ 魅力度No.1プロジェクト ⑰ 世界に飛躍する茨城へ ⑱ ビジット茨城 ～新観光創生～ ⑲ 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京リ光ッ・パッリ光ッの成功 ⑳ 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち
--	--	--	--

【第4部 地域づくりの基本方向】

第1章 基本的な考え方

1 地域づくりの視点

- 地域が主体的に考える地域づくり
- 広域交通ネットワークで相互に支え合う地域づくり
- 最先端技術を活用した特色ある地域づくり
- 県境を越える広域連携を見据えた地域づくり

2 地域区分の考え方

- 地域づくりを効果的に推進する観点から、5つの地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）に区分
- 同一地域内においても、産業構造や人口動態などから将来の発展の方向性が異なる地域が含まれることから、5つの地域区分を細分化した11のゾーンを新たに設定



※ゾーンの名称は仮称

第2章 地域区分毎の基本方向

- 地域区分毎に産業構造や人口推計などの地域の概況を表す定量データと、それらを踏まえた現状と課題、さらには、目指す将来像及び地域づくりの取組を示します。

第3章 広域的な地域づくり

1 観光振興による地域の活性化

- 5つの地域区分毎に観光振興による地域の活性化の方向性を示します。

2 霞ヶ浦と共生する地域づくり

- 「霞ヶ浦とともに生きる」を目指すべき将来像として、その実現の取組を示します。

【第5部 「挑戦する県庁」への変革】

将来構想に掲げる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けた全ての施策展開を支える基盤として、今後4年間における行財政運営の主な取組等を示すものです。

第1章 基本的な考え方

- 行財政運営の現状 ○ 職員数の状況 ○ 財政状況
- 変革の必要性
- 基本方針と取組の柱 ○ 基本方針と基本姿勢 ○ 取組の柱

第2章 「挑戦する県庁」に向けた取組

- 各取組毎に実施する政策・施策・主な推進方策等を示します。

基本方針	未来に希望の持てる新しい茨城づくりに向けて 「挑戦する県庁」への変革	
基本姿勢	県民本位	「県民のためになっているか」を常に考え、政策を実行します。
	積極果敢	横並び意識を打破し、失敗を恐れず積極果敢に挑戦します。
	選択と集中	目的を見据えて選択と集中を徹底し、経営資源を最大限効果的に活用します。
取組の柱	取組Ⅰ 挑戦できる体制づくり 1 「人財」育成と実行力のある組織づくり 2 働き方改革の推進 3 多様な主体と連携した県政運営	取組Ⅱ 未来志向の財政運営 1 戦略的な予算編成と健全な財政構造の確立 2 出資団体改革の推進